■田中一村　　**日本画家。画壇のあり方に不審抱き，奄美大島に居を定めて孤高・異端を通し，没後に発見・評価された。**
たなかいっそん
ｱﾗﾗｷﾞ創刊・ 1908＝　　栃木県栃木町で**_彫刻家田中稲村の長男に生まれる。**

明治天皇没・1912＝ 4歳：東京市麹町に移る。

_父は早くから一村の画才を見抜き，画号を与えた。

ロシア革命・1917＝ **9歳：**

原敬首相暗殺1921＝13歳：芝中学校に入学。**_学業に励む一方，南画の制作・研究を行い，栃木県佐野の親類宅で画会を開く。**

関東大震災・1923＝15歳：関東大震災で家を焼失，一時南画家の家に身を寄せ，

治安維持法・1925＝17歳：四谷の借家に入る。**_全国美術年鑑に名が掲載される。**
円本時代始・1926**＝18歳：**芝中学校を卒業し，**_東京美術学校日本画科に入学。同期に東山魁夷らがいたが，わずか3ヶ月で退学。結核で安静を命じられる。第1回新興文人展覧会に名が掲載。父の友人の主催で賛奨会が開かれた。**
共産党事件・1928＝20歳：弟，母が相次いで死去。

満州事変・・1931＝23歳：**_「蕗の薹とメダカの図」で将来進むべき画風を示すも賛同が得られず，以後南画風の作品は少なくなる。**

芥川直木賞始1935**＝27歳：**父，弟が相次いで死去。

日中戦争始・1937＝29歳：
健保+総動員 1938＝30歳：東京の借家暮らしを打ち切り，千葉寺に転居，姉妹，祖母と生活。周囲の自然の写生に熱中。

日米開戦・・1941＝33歳：

創価学会検挙1943＝35歳：**_船橋の工場に徴用されるが，体調をくずし，終戦まで闘病生活。**
年金+総武装 1944**＝36歳：**
敗戦・・・・1945＝37歳：死への恐怖と平和への祈りをこめて，観音菩薩像を多く描く。

新憲法施行・1947＝39歳：**_青龍展で「白い花」が入選。**
極東裁判決・1948＝40歳：**_青龍展で「波」が入選するが，自信作「秋晴れ」が落選したことが納得出来ず，入選を辞退。**
三大事件・・1949＝41歳：仏画を多く描く。

独立回復・・1951＝43歳：
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952＝44歳：カメラに興味を持ち，姉や風景を撮影，そのレベルはかなり高い。
TV放送始・・1953**＝45歳：**襖絵「花と軍鶏」を描く。
自衛隊発足・1954＝46歳：石川県志雄町の聖徳太子殿天井に「薬草四十八種」を描く。
55年体制始・1955＝47歳：**_四国・九州へと旅立ち，種子島・屋久島・トカラ島まで足を伸ばし，南国の自然に魅了され，奄美大島行きを決意，**
_家を売って資金をつくり，
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝50歳：**_奄美大島に渡航，名瀬市の下宿に住む。**
美智子妃・・1959＝51歳：島内を写生して廻る。名瀬市の国立療養所奄美和光園の官舎に移り住む。
安保闘争・・1960＝52歳：友人の依頼で制作するため，一時千葉に戻る。
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961＝53歳：再び奄美に渡り，名瀬市の借家に入る一方，**_生計を立てるため，紬を織る。**
全国総合計画1962**＝54歳：*紬工場で染色工として働き始め，その資金をもとに制作して千葉で展覧会を開く10年計画を立てる。**

大学紛争始・1965＝57歳：姉が危篤の報で千葉に帰る。姉が死去，遺骨を抱いて奄美に戻る。
_以降，代表作「アダンの木」，連作「奄美の杜」ほか，優れた作品が集中的に生み出されて行く。
美濃部都知事1967＝59歳：**_計画通り，紬工場をやめ，絵を描くことに専念する。**

大阪万博・・1970＝62歳：**_計画通り，再び紬工場で働き始める。**
ﾄﾞﾙｼｮｯｸ・・ 1971**＝63歳：**
日中国交回復1972＝64歳：**_紬工場をやめ，絵画制作を再開するが，腰痛，めまいなどで体調をくずす。**
石油ショック1973＝65歳：「熱帯魚三種」，

ｸｱﾗﾝﾌﾟｰﾙ事件1975＝67歳：色紙に描かれた作品多数。
田中角栄逮捕1976＝68歳：**_軽い脳溢血で倒れる。画業もはかどらず，孤独と闘いながら焦燥の日々を贈る。**
JALﾊｲｼﾞｬｯｸ・1977＝69歳：***体調がやや回復し，肉親，友人に見せるため，奄美での全作品を千葉県に持って行くが，再び奄美に持ち帰る。名瀬市の借家で，ひとり夕食の準備をしている時，心不全で倒れ，没した。**

NHK出版「田中一村の世界」，